

研究機関名：東北大学

受付番号：	2011-405
研究課題名	一般社団法人日本熱傷学会「熱傷入院患者レジストリー」への症例登録事業
研究期間	西暦 2011年12月（倫理委員会承認後）～ 2016年 3月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療録）
上記材料の採取期間	西暦 2011年12月～ 2016年3月
意義、目的	<p>1981年に新宿駅前で発生し多くの死傷者を出したバス火災を契機に、突発的に発生する災害に対応するため、1982年、東京都と東京都医師会および熱傷救急専門医療施設（発足時7施設、現在13施設）は、東京都熱傷救急連絡協議会および熱傷救急専門医療施設（熱傷ユニット）を発足させた。このとき東京都において熱傷ユニットに入院する重症患者の把握を目的に「東京都熱傷ユニット入院患者統計」が開始された。その後、愛知県などにおいても13箇所の医療施設において診療した熱傷患者の調査登録が開始された。</p> <p>しかしながら、本邦における「熱傷の診療に関する多施設データベース」は僅かな自治体で施行されているだけで、全国的な「日本の熱傷診療全般に関する多施設データベース」は存在しない。</p> <p>心肺蘇生、敗血症あるいは外傷診療など、診療の標準化を求める国際的な流れのなかで熱傷に関しては、米国においては米国熱傷協会（ABA: American burn association）により70箇所の医療施設が熱傷患者登録に参加するようになり、これらのデータは熱傷初期治療の標準化プログラムである ABLIS（advanced burn life support）の内容にも影響をあたえている。</p> <p>本邦においても、同様に熱傷診療の現状を把握すると共に、国際的な比較を行うなどの方法により、熱傷診療の向上と標準化のための「熱傷診療全般に関する多施設データベース」の必要性は高い。本研究は、本邦における熱傷診療の全体像を把握し、熱傷診療の質の向上を図るうえで、大きな意義と貢献があると考えられる。</p>

方法

多施設観察研究をおこなう。参加施設は、一般社団法人日本熱傷学会が指定する医療施設（熱傷専門医認定研修施設またはそれに準じる施設）92施設。

【対象患者】日本熱傷学会が指定する医療施設に入院した全ての熱傷患者。原則としてすべての対象患者を選択するが、本研究に参加したくない旨の意思表示があった患者は登録から除外する。

【方法】対象患者について、下記の項目をインターネットを介して登録する。

必須	項目
<input type="radio"/>	登録日
<input type="radio"/>	登録施設番号
	施設内個人識別番号*
<input type="radio"/>	年齢
<input type="radio"/>	性別
<input type="radio"/>	受傷日
<input type="radio"/>	入院日
<input type="radio"/>	受傷場所（都道府県）
<input type="radio"/>	熱傷の主原因
<input type="radio"/>	来院手段（多肢選択）
<input type="radio"/>	紹介（転送・転院）
<input type="radio"/>	入院主目的（急性期治療 機能再建/整容）
<input type="radio"/>	来院時心肺停止（あり・なし）
<input type="radio"/>	総熱傷面積（%TBSA）
<input type="radio"/>	Ⅲ度熱傷面積（%TBSA）
<input type="radio"/>	気道熱傷（あり・なし）
<input type="radio"/>	顔面熱傷（あり・なし）
<input type="radio"/>	頸部熱傷（あり・なし）
<input type="radio"/>	手指熱傷（あり・なし）
<input type="radio"/>	会陰部熱傷（あり・なし）
<input type="radio"/>	手術（熱傷創）（あり・なし）
	手術回数（手術ありの場合のみ）
<input type="radio"/>	同種植皮（あり・なし）
<input type="radio"/>	転帰（多肢選択）
	死亡の主原因（多肢選択、死亡の場合のみ）
	感染の主原因（多肢選択、感染ありの場合のみ）
<input type="radio"/>	退院日
	備考

本学の役割は、症例集積とデータ収集である。

登録されたデータの保管・管理は、日本熱傷学会が、下記のインターネットデータセンターを利用して行う。

大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)センター

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部附属病院内

FAX1 03-5689-0726、電子メール:indice@tlmin.ac.jp

問い合わせ・苦情等の窓口

責任者：遠藤智之 病院 高度救命救急センター

TEL: 022-717-7489 FAX: 022-717-7492

E-mail: information@emergency-medicine.med.tohoku.ac.jp